

【記事広告】
リノベ大臣リリース記念
特別インタビュー

500万円以上のリノベ客をローコスト集客

探す、新聞折込の不動産チラシを見る。考えられるのはこの辺りでしょうか。いずれにしても、お客さんは不動産業者を中古物件探しの入り口にするでしょう。

——そうですね。リノベーションを行いたい会社が、不動産業者との連携で中古物件の大型工事を受注しようという動きも増えています。ただ、こうした連携は上手くいかないケースが多いですね。

——そうですね。リノベーションを行いたい会社が、不動産業者との連携で中古物件の大型工事を受注しようという動きも増えています。ただ、こうした連携は上手くいかないケースが多いですね。

新築住宅の着工数低下とともに注目が集まる中古住宅市場。大型のリノベーション工事をいかに獲得していくかは今後建築業者にとって大きな課題となる。そんな中、ネット集客での実績を多く持つチタン(東京都新宿区)が中古不動産情報を消費者に提供し、集客を行うシステム「リノベ大臣」をリリースした。

不動産業者との集客争いに勝つ

——リフォーム会社や工務店といった建築業者にとって、リノベーション市場は非常に魅力的です。工事単価は大きいものが多いですし、施主が住みながら工事しないでいいケースが殆んど。しかし、一方で集客の手法がリフォームとまったく異なるなど、参入のハードルが高いのも事実です。

中古物件を探すお客さんがまずどのように行動するか。不動産業者の店舗に足を運ぶか、ネットで不動産情報を検索して



(株)チタン
代表取締役社長
中野泰植

探す、新聞折込の不動産チラシを見る。考えられるのはこの辺りでしょうか。いずれにしても、お客さんは不動産業者を中古物件探しの入り口にするでしょう。

——そうですね。リノベーションを行いたい会社が、不動産業者との連携で中古物件の大型工事を受注しようという動きも増えています。ただ、こうした連携は上手くいかないケースが多いですね。

——そうですね。リノベーションを行いたい会社が、不動産業者との連携で中古物件の大型工事を受注しようという動きも増えています。ただ、こうした連携は上手くいかないケースが多いですね。

探す、新聞折込の不動産チラシを見る。考えられるのはこの辺りでしょうか。いずれにしても、お客さんは不動産業者を中古物件探しの入り口にするでしょう。

——そうですね。リノベーションを行いたい会社が、不動産業者との連携で中古物件の大型工事を受注しようという動きも増えています。ただ、こうした連携は上手くいかないケースが多いですね。

——そうですね。リノベーションを行いたい会社が、不動産業者との連携で中古物件の大型工事を受注しようという動きも増えています。ただ、こうした連携は上手くいかないケースが多いですね。

探す、新聞折込の不動産チラシを見る。考えられるのはこの辺りでしょうか。いずれにしても、お客さんは不動産業者を中古物件探しの入り口にするでしょう。

——そうですね。リノベーションを行いたい会社が、不動産業者との連携で中古物件の大型工事を受注しようという動きも増えています。ただ、こうした連携は上手くいかないケースが多いですね。

——そうですね。リノベーションを行いたい会社が、不動産業者との連携で中古物件の大型工事を受注しようという動きも増えています。ただ、こうした連携は上手くいかないケースが多いですね。

▲リノベ大臣の設置例。中古物件情報を探すユーザーが集まる

新築でのネット集客
ノウハウ盛り込む

——不動産ポータルサイトを自社で持つようなものですね。どのくらいの集客を見込めるかと考えていますか。

「土地大臣」の場合、月50件以上の問い合わせを安定して獲得している会社もあります。地域性や新築の土地探しの母数の違いもありますが、

その心配はありません。基本的にそのエリアの不動産情報は弊社がアップしていきます。なので、運営にかかる手間はほとんどありません。「土地大臣」でも非常にその手間が掛からない点を評価してもらっています。勝手に見込み客が集まるシステムでなければ

デザインと価格では勝負しないのです

——リノベーションというと、デザイン重視、プランのレベルが高い競合企業が多いというハードルもあります。

「囲い込む」という2点において「リノベ大臣」は非常に強力なツールです。これから中古住宅市場へ参入しようという会社には是非使ってもらいたいと考えています。